

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	福岡市	計画の名称	雑餉隈駅周辺における安心で快適な交通環境の形成		
計画期間	平成30年度～令和02年度（3年間）				全体事業費	12,587百万円	国費率	0.55
交付期間	平成30年度～令和02年度（3年間）		事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	12,587百万円	国費率	0.55
1) 事業の実施状況	対象事業	要素事業名						
		A.地方道整備事業	西鉄天神大牟田線（雑餉隈駅付近）					
		B.関連社会資本整備事業						
		C.効果促進事業						
		その他関連する事業						
	進捗状況	要素事業名		事業内容（延長・面積等）		事業進捗（R04年度末予定）		
		A.地方道整備事業		西鉄天神大牟田線（雑餉隈駅付近）		連続立体交差事業：1.86km		
						整備中		
		B.関連社会資本整備事業						
		C.効果促進事業						
		その他関連する事業						
2) 事業の効果発現状況			指標名・算定式		当初現況値 （H30年当初）	目標値 （R04末）	実績値 （R02末）	目標値と実績値に差が出た要因
	成果目標の達成状況		緊急対策踏切の解消率（％）＝（対策済み踏切箇所数）／（要素事業の緊急対策踏切箇所数）×100		0%	100%	0%	当初計画は令和4年度までの5か年計画であったが、令和3年度から個別補助へ移行し、3か年の計画となったため
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況（定性的な効果）		－					
	関連社会資本整備事業、効果促進事業の効果発現状況（定性的な効果）		－					
3) その他	今後の事業予定等		・引き続き国の個別補助制度を活用しつつ、令和7年度の事業完了に向け、事業の進捗を図る。					

※完了予定については、計画予算が確保された場合の目標であり、事業の進捗状況、財政事情等により適宜見直しを行います。

様式2-2 計画の概要

雑餉隈駅周辺における安心で快適な交通環境の形成											
事業の目的			成果指標・算定式		当初現況値 (H30年当初)	目標値 (R04末)	実績値 (R02末)	目標値と実績値に差が出た要因			
雑餉隈駅周辺は、踏切遮断時における交通渋滞や、踏切事故などへの対策が必要であるとともに、鉄道により分断されている地域の一体化が求められている。 雑餉隈駅周辺の鉄道を高架化することで、交通渋滞や踏切事故の解消、分断された周辺市街地の一体化を図り、市民が安全で快適に生活できる都市環境の形成を図る。また、併せて側道整備を行い、沿線の交通の利便性や安全性を確保するとともに、駅へのアクセス性の向上や公共交通の利用促進を図る。			緊急対策踏切の解消率(%)＝(対策済み踏切箇所数)／(要素事業の緊急対策踏切箇所数)×100		0%	100%	0%	当初計画は令和4年度までの5か年計画であったが、令和3年度から個別補助へ移行し、3か年の計画となったため			
整備前  (一部)整備後  西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅付近)											
区分	番号	事業種別	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	R02年度末での 供用状況
					H30	R01	R02	R03	R04		
A. 地方道路整備事業	2-A1	街路	西鉄天神大牟田線 (雑餉隈駅付近)	連続立体交差事業：1.86km						12,587	整備中
B. 関連社会資本整備事業				な し							
C. 効果促進事業				な し							
その他関連する事業				な し							
主な事業効果		・令和4年8月の高架切替に向け、高架橋工事等の進捗が図られた。									

※完了予定については、計画予算が確保された場合の目標であり、事業の進捗状況、財政事情等により適宜見直しを行います。